

## 10/18 から愛知自治体キャラバンがスタート 43 回目



医療・福祉・介護など社会保障の拡充と国や愛知県に意見書の提出を求めて県内すべての自治体を訪問し(54自治体+愛知県)、要請する「2022年愛知自治体キャラバン」が10月18日にスタートします。愛知社保協がとりくみ今回で43回目、キャラバンを通じて介護保険料独自減免など多くの陳情項目が実現してきました

た。近年では18歳年度末までの医療費無料(通院・入院)で要望が実現、入院の無料は08年はゼロ自治体でしたが、21年は70%の自治体を実施し全国1位の比率です。現在、参加者を対象にした「事前学習会」が各地域で開催されています。10月11日(火)夕刻には、団長事務局長会議が労働会館で開催され、27人が参加しました。(愛労連ニュースより)

キャラバン一日目新城市、豊川市、蒲郡市 自治体キャラバンに参加者・山口清明氏の寄稿。

東三河労連の青木さんが要請団の団長。あいさつで、各自治体の評価できる施策をコンパクトにまとめていただいた。まず前進面に敬意を表す。大切なことですね。

新城市。保育園の給食無料化！に加えて、11月から3月まで学校給食無料化します。給食無料化は市長の選挙公約でもあり、いろんな意見もあるが検討はしている。介護保険の障害者控除の認定書送付はまだしてないが前向きに検討中。国保の基金が世帯当たり一万四千元余、県下で四番目に多いと指摘。生保、扶養照会するも金銭支援はゼロ。新しい国の通知もふまえて、もう止めたら、と迫る。



豊川市。保育園の給食無料化はがんばっている。介護保険の障害者控除について、申請書ではなく認定書を送付すべき。対象者は把握できてるし事務も軽減できる。見直しは検討中。国保。資格証明書をまだ8件発行。ていねいに相談には応ずる。県下で止めた自治体や横浜市でも困ったことはおきてないと伝える。生保。担当者一人当たり世帯数が国の基準を超えている県下6自治体の一つ。改善を求める。扶養照会も機械的に行うことはしないと。18歳までの医療費無料化や産婦健診、予防接種などは近隣自治体の状況を認識している。検討の必要性は認識している。

蒲郡市。こども保育園給食費無料化。加えて、学校給食3ヶ月無料。水道料金半年無料。带状疱疹ワクチン助成。18歳まで医療費無料化。介護保険の障害者控除は認定書の送付に変更。など豊かな実績。

国保の高額療養費の申請手続き簡素化を求める。

三市とも介護保険は東三河広域連合の扱い。広域連合が多額の基金を保有しながら保険料引き下げに取り崩そうとしないこと、住宅改修などに受領委任払いを認めていないこと、などに自治体からも改善を迫るように求める。

豊川市は新婦人や民商からの地元参加がありましたが、新城は自治労連などキャラバンメンバーのみ、蒲郡

も同メンバー＋議員の参加にとどまり、少しさびしく感じました。労連や保険医協会のみなさんの発言は的確です。なるほどと共感を広げます。地元の方々の発言にも、そうさそうさ！と頷きました。

補聴器助成がんばりたい！ 国保や介護保険の増えてきた基金を保険料引き下げに活用させたい！ ケースワーカーの平均在任年数が短すぎ！ 女性も足りない！ 魅力とやりがいある職場にしたいね！ 学校給食の無償化にどう迫るか？ 運動と論戦の両方でさらにパワーアップしたい。

近隣自治体間で情報を共有し学び合う。当局に迫りながら、市民運動、議員も同じように学び合うことが力になります。自治体間の比較を示しながら要求する。何年でも繰り返し粘り強く要求する。必ず変化は作れることにあらためて確信を持ってました。社会保障の運動はやはり血が騒ぎます。学ぶことの多いキャラバンです。

## 一日目 清須市⇒北名古屋⇒岩倉



秋の自治体キャラバン2日目(10/19)豊橋市・左と田原市・右

安城市第4コース3日目↓



東海市、秋の自治体キャラバンは3日目、コース別に①弥富市、②豊山町、③阿久比町、④安城市、⑤東栄町からスタートしました。武豊町では、来年4月から18歳までの医療費無料化がアンケート時点では入院のみとなっていたが、懇談のなかで、通院も一緒に無料化することになったと報告がありました。

写真↓ 阿久比町⇒武豊町⇒半田市



## 秋の自治体キャラバン前半終了～愛知県(11/4)、名古屋市(11/9)、東三河広域連合(11/16)



AIROREN ニュース

## この秋、みんなの力で、大きく前進!素晴らしい、確信を力に!!

2022年愛知自治体キャラバン要望実現項目(2021年10月以降)(2022年10月24日現在)

1.介護 ①介護認定者の障害者控除認定書の送付 田原市(2022年度から)、みよし市(2021年度から)、大治町(2022年度から) ②補聴器購入助成制度 あま市(2023年度から実施する方向で要件等を検討中)

2.国保 ①国保資格証明書発行中止 豊橋市、東海市、東浦町、一宮市(2022年8月から)、稲沢市(2022年9月から) ②高額療養費申請簡素化 【70歳以上】半田市、津島市、知多市、豊明市、あま市、長久手市、南知多町 【70歳未満】津島市、犬山市、小牧市、大府市、知多市、豊明市、長久手市、大口町、南知多町、設楽町

3.福祉医療 ①子ども医療費助成制度 【通院・入院とも18歳年度末まで無料】 ※下線は入院医療費と同時に18歳年度末まで拡大 2022年1月:名古屋市、2022年4月:東海市。岩倉市・愛西市・弥富市、2022年9月:小牧市・扶桑町、2022年10月:江南市・尾張旭市、2023年1月:蒲郡市・幸田町、2023年4月:春日井市・稲沢市・大口町・武豊町 犬山市(通院・入院とも、中学卒業後の1割負担を廃止、2022年4月) 津島市(通院・入院とも、中学卒業後の所得制限を廃止、2022年10月) 【入院を18歳年度末まで無料】 2022年4月:碧南市・西尾市・知多市、2022年10月:豊明市・あま市、2023年4月:武豊町

4.子育て支援 ①学校給食の無償化・補助 犬山市・小牧市(第3子以降の無償化)、豊明市(1食40円減額、食材料費高騰分公費負担)、みよし市(消費税分などの対応で1食20円補助) ②保育施設給食の無償化・補助 蒲郡市(主食費無償化)、豊橋市(副食費第2子以降無償化)、みよし市(給食費第2子以降無償化、給食費無償化所得範囲拡大)、犬山市(給食費第3子以降無償化)、碧

南市(副食費 第3子以降無償化) ③就学援助基準の改善 名古屋市(生活保護基準の1.0倍→1.2倍)

5.予防接種 ①子どものインフルエンザ……岡崎市、江南市、稲沢市、清須市、弥富市、東郷町、幸田町 ②おたふくかぜ……稲沢市、東海市、大府市、豊明市 ③带状疱疹……蒲郡市、稲沢市、大府市、豊山町、飛島村

6.健診 ①産婦健診(1回→2回)…犬山市、岩倉市、扶桑町

## 駒田富枝愛労連元副議長、保健文化賞受賞おめでとう!

### 3T(楽しい・ためになる・助け合い)の活動をみんなで!

津具ココモ予防体操教室 事務局 駒田富枝

2011年5月つぐ診療所医師が呼びかけ綾雲民対象で「ココモ予防体操教室」が愛知厚生連健康福祉課・豊田足助病院リハビリテーション科の協力で開催されました。期間は6ヶ月・月2回午後6時からぎっしりのプログラム。終了してから定期的に続けたいと願う住民の要求で、住民、診療所の医師、保健センター後卒業生たちが「同窓会」を開きたいと熱望。住民、医師、保健師が相談し住民主導で2012年1月「津具ココモ予防体操教室」を発足しました。

それから10年。会員60名。毎月1回の体操教室・うたごえ(プリランテ合唱団、津具中学校での合唱発表会に参加)・絵手紙(隔月1回 作品は郵便局に展示)など活動を展開。10年間で会員の1年間の活動延べ数は年間平均1000回を超え、介護予防費を使い地域高齢者の保健活動の砦となりました。

愛知県の中でも1, 2を争う少子高齢化が進展しているこの地域で住み慣れた地域で安心して健康で住み続けられるために会員の要求をみんなで考え進めることで「私たちの教室」として地域の健康や福祉の問題などを確実に動いてきた10年でした。そして今年10年をまとめたものが第72回保健文化賞の受賞となりました。表彰は12月、会員たちは驚きと誇りを感じながら毎月の予定を楽しみながら頑張っています。スライドもできましたので、見ていただくこともできます。

2022年10月10日 写真提供 田中道代さん

\*\*\*\*\*

津具ココモ予防体操教室(愛知県) 住民主導による津具ココモ予防体操教室は、高齢化が進展する山間地域において、十年にわたる活発な活動を継続し、住民達の知恵と努力、地域保健関係者の支援を結集させ、地域の高齢者の健康づくりや地域活動の活性化に貢献している。

\*\*\*\*\*

第74 回目となる「保健文化賞」は、昭和25年に創設されて以来、第一生命保険株式会社が主催し、厚生労働省、朝日新聞厚生文化事業団、NHK 厚生文化事業団の後援により毎年継続して実施しています。今回の受賞者は、団体10件、個人5名です。

令和4年9月5日 【照会先】 健康局 健康課 地域保健室

